

対策困難箇所事例報告書

市町村	事例No.	危険箇所
東浦町	1	東浦中学校区押しボタン式信号交差点

1 危険箇所の状況

■危険箇所の状況

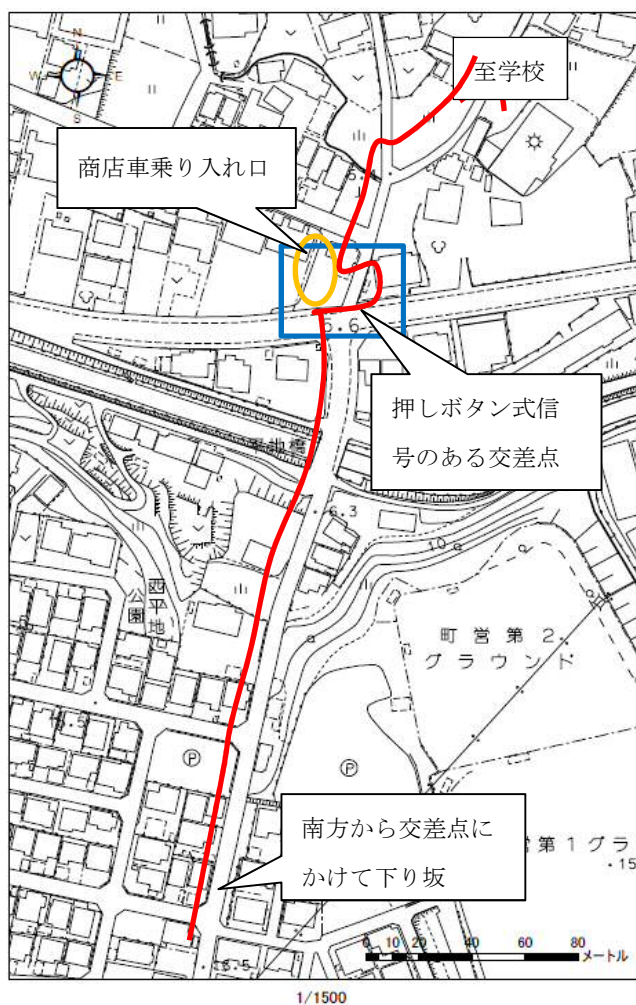
県道を南北に渡る押しボタン式信号が設置された交差点。登校時は自転車通学の生徒が、南から北に向かって長い下り坂を降りてくる。本来は左側通行で走行してきた自転車が、まず西から北にかかる横断歩道を利用して横断し、その後手押し信号を利用して南から北へ横断する流れである。しかし、現在は東西の横断歩道を利用せず、下り坂を走行しながら西から東へ斜め横断をして、南北の横断歩道を渡る生徒が多い。また、横断歩道の位置が動線上よくないため、押しボタン信号を利用せず、車が来ないのを目視で確認してそのまま直進してしまう生徒もいる。

交差点西側にも南北を横断する横断歩道の設置を要望したが、人の滞留場所がなく、北側が商店の乗り入れ口にもなっているため設置は危険であるとのことだった。

■通学路地図



※地図データ： WebGIS より



■ 現場写真



※航空写真データ： GoogleMAP より

2 町連絡会における意見

■警察署

- ・交差点西側は商店の乗り入れ口となっており、横断歩道の設置は危険。
- ・信号機は県道を横断するために設置してあるので、通常信号への切り替えは難しい。また、通勤時間帯は渋滞する箇所なので、更なる渋滞が懸念される。

■アドバイザー

現在は動線が悪く、また、停留所があまり広くないため、角にある私有地に足をかけたり、車と接触しそうになっていた。現在の横断歩道を西へ1～2m 移設できると、動線が滑らかになり、滞留スペースも広く取れるのではないかと思います。

3 対策（実施予定）

■学校

- ・生徒への注意喚起及び登下校指導をおこなう。

対策困難箇所事例報告書

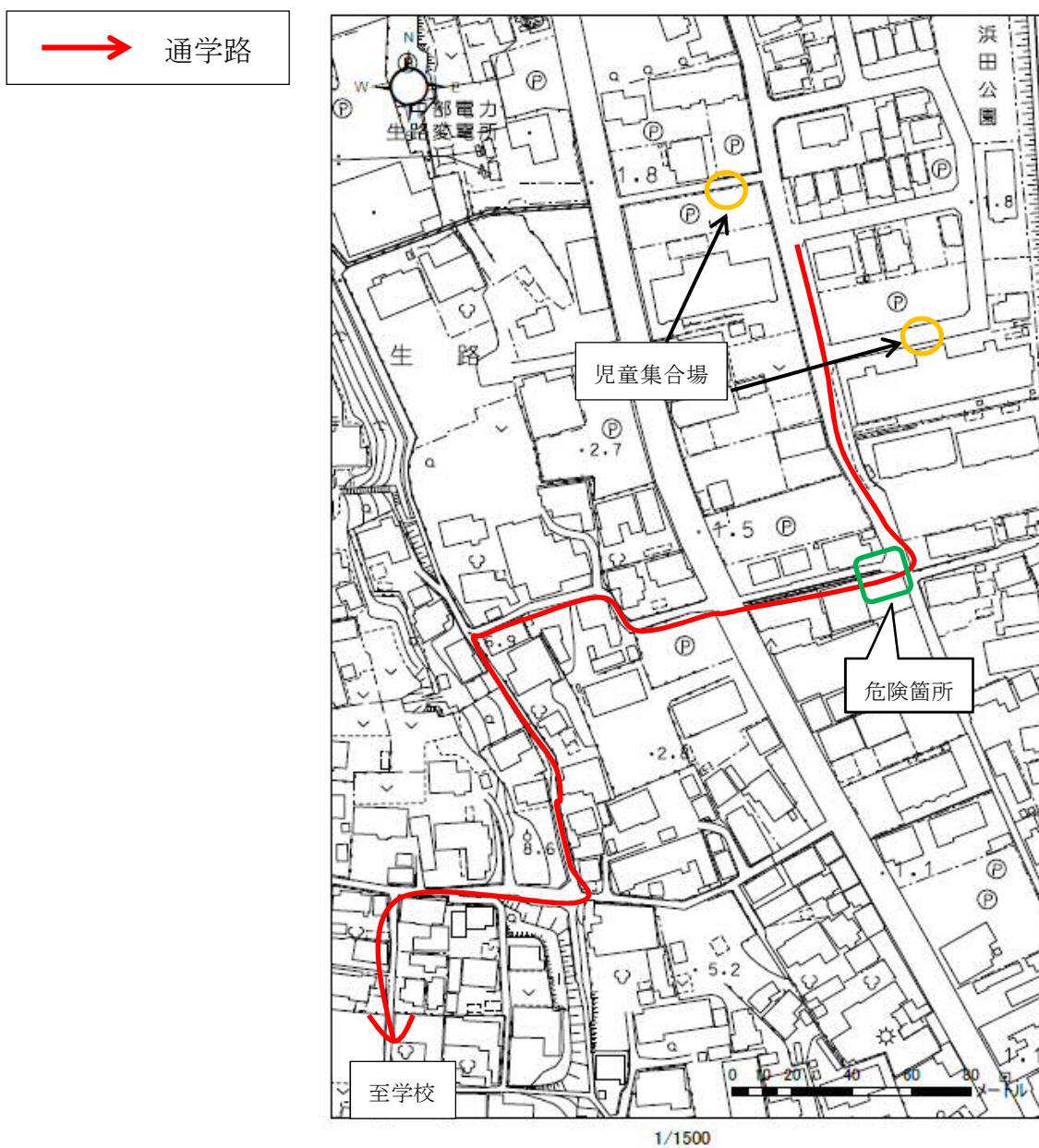
市町村	事例No.	危険箇所
東浦町	2	生路小学校区側溝

1 危険箇所の状況

■危険箇所の状況

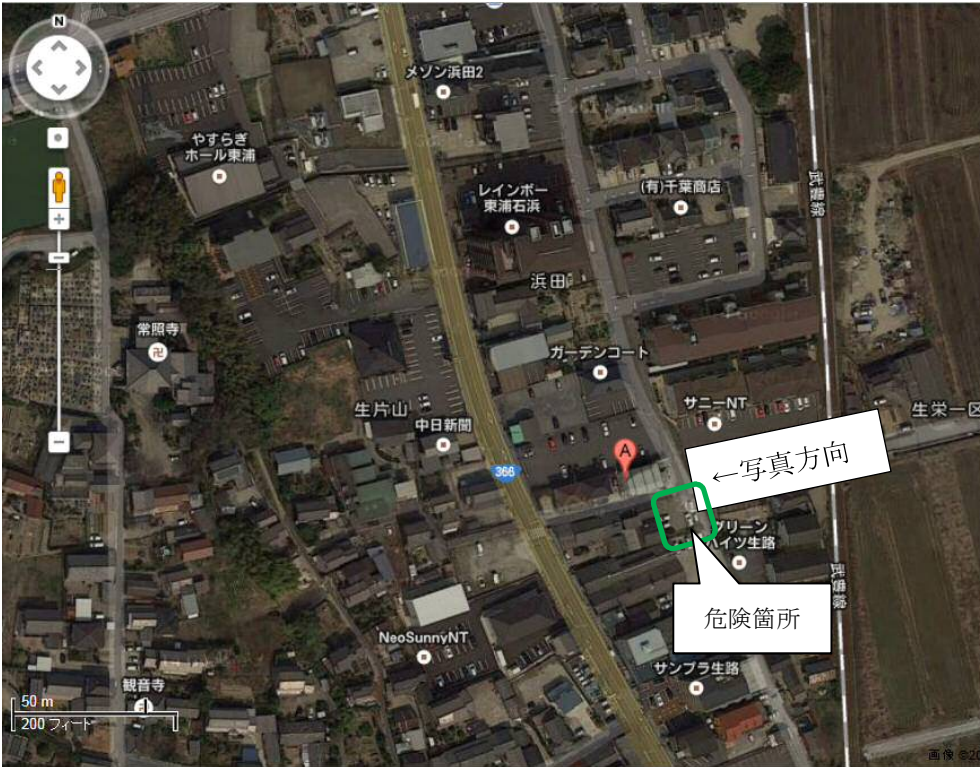
通学路の脇道にある側溝に蓋がなく、児童が落ちる危険性がある。

■通学路地図



※地図データ： WebGIS より

■ 現場写真



※航空写真データ： GoogleMAP より

2 町連絡会における意見

■道路管理者

- ・側溝が個人所有地であり、蓋設置及び用地買収の交渉が難航している。

■アドバイザー

高さの低いカラーパイプ等を置いて児童にも注意して登校させる。なお、本対策では、道が狭くならないような設置位置とする必要がある。

3 対策（実施予定）

■道路管理者

- ・応急処置として現在はトラ柵を置き、注意喚起をしている。

■学校

- ・児童への注意喚起及び登下校指導をおこなう。